

一般財団法人京都ボーイスカウト振興会

令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日）

事業報告

1. はじめに

令和2年度は新型コロナウイルス感染による世界的な災禍に、社会経済活動は大きな打撃を受け、ボーイスカウトの活動も例外ではありませんでした。集会・会議等の対面する活動は延期・中止との日本連盟・京都連盟の申し合わせにより、スカウトはキャンプを中止したり進歩が滞ったり、募集活動も積極的に展開できませんでした。

このようななか、医療や社会基盤を支える最前線で防疫に尽力されている方々に思いを馳せ、スカウトたちは自粛を逆手にさまざまな創意工夫によって活動を続けてきました。オンラインによる集会をはじめ、自宅で自分で取り組む「おうちスカウティング」など、“Scouting Never Stops!”の合言葉のもと一体感をもってコロナまん延防止にも努めてきました。

Googleが日本連盟をつうじて各団・各地区にアカウントを無償提供したことは画期となります。これによりカレンダー、文書共有・配布、オンライン会議等の機能が無制限に使用でき、ICT（情報通信技術）を駆使した活動が期待できます。

例年続けてきた事業は実施できないものが多くありましたが、新しいチャレンジとして文部科学省委託事業「ボーイスカウトとあそぼうワクワク自然体験あそび」があげられます。実施団は独自のプログラムで一般児童を対象に「遊び」を提供してボーイスカウト運動への理解をはかり、472人の参加を受け入れました。コロナ禍のステイホームで自然体験の大切さが見直された証左の一つといえましょう。

これらの社会的な期待と、さまざまな関係者の努力にもかかわらず、加盟員登録数の減少が止まりません。4月1日現在の前年比は98人の減少となりましたが、昨年の88人減、一昨年の214人減に比べコロナ禍でも善戦の模様です。新たな環境に適応して存在しつづけるために、ボーイスカウト内部に固執せずさまざまな団体や仕組みとの連携をはかって、さらなる工夫と努力が求められています。

また当該会計年度は、維持会費収入が 2,310千円と前年度比-110千円となりました。

2. 事業報告の内容

(1) ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業

(ア) 助成の対象

京都府下において、ボーイスカウト運動の趣旨を理解し、組織的にボーイスカウト運動を行う団体として、京都連盟を助成対象とした。

(イ) 助成の趣旨・使途

ボーイスカウト運動にかかる講習・実修・研修・キャンプに要する経費、スカウト派遣に要す

る経費、その他ボーイスカウト運動に欠くことができない重要な行事のために必要となる経費

(ウ) 事業実績

- － 事業費として、総額 1,300 千円を支出した。
京都連盟の進歩費、国際費、安全費、環境費、コミッショナー費、イベント費、ボーイスカウト講習会及びウッドバッジ研修所運営費等に必要となる事業費の一部に対して助成した。
- － 新型コロナウイルス感染防止のための緊急事態宣言およびまん延防止対策発出に伴い、日本連盟・京都連盟から「対面する会議・集会などの活動を延期または中止」の通達により、事業計画の大半が実施することができなかった。
- － オンライン会議やリモート講習会等の非接触型活動を推進するため、事務局会議室にカメラ・マイク・モニター等を設置した。

(参考) ボーイスカウト講習会の実施状況

名称	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回
期日	6 月 21 日延期 11 月 15 日中止	10 月 25 日	11 月 1 日	3 月 6 日
会場	城陽市立南部 コミュニティセンター	洛西 境谷会館	舞鶴市 中総合会館	下鴨神社 公文所-
参加者	コロナ感染防止 のため延期したが 定員に満たず中止	15 名	10 名	22 名

(参考) ウッドバッジ研修所等の実施状況

名称	WB 研修所 スカウトコース 京都第 4 期	コミッショナー ベーシック トレーニング	コミッショナー 研修所 京都第 7 期	課程別研修	
				BS 課程 京都第 2 回	BVS 課程 京都第 3 回
期間	5 月 3 日-6 日延期 9 月 19 日-22 日中止	9 月 19 日-22 日	11 月 21 日-23 日	6 月 28 日	10 月 4 日
会場	広河原野営場 静原キャンプ場	静原キャンプ場	大原郊外学舎	京都テルサ	京都テルサ
参加者	コロナ感染防止 のため延期したが 再び中止	コロナ感染防止 のため中止	コロナ感染防止 のため中止	コロナ感染 防止のため 中止	4 名

(2) 青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業

(ア) 体験活動の所在地

広河原野営場：京都市左京区広河原尾花町 27 番地

(当法人所有：山林 22,559 平方メートル、原野 521 平方メートル)

(イ) 体験活動の運営主体

日本ボーイスカウト京都連盟

(ウ) 体験活動に参加が予定されている対象者

青少年の育成を目的とした組織団体に無償提供する。

(エ) 体験活動に参加した対象者、使用月日、使用人数等

使用者	使用月日	使用人数	備考
1. 山開き	4 月 19 日	3 人	イベント/財産管理委員会
2. 夏季整備作業	7 月 19 日	11 人	イベント/財産管理委員会
3. 冬季整備作業	11 月 29 日	14 人	イベント/財産管理委員会
4. 隊キャンプ	3 月 28 日-30 日	10 人	京都第 55 団ボーイ隊
合 計	6 日	38 人	

■このほかに、① 5 月 3 日-6 日 WB 研修所、② 8 月 11 日-15 日京都第 23 団ボーイ隊 30 人の予約があったが、コロナ感染防止のためキャンセルとなった。

(オ) 事業実績

広河原野営場建物の減価償却費 80,730 円・固定資産税 4,300 円が主な費用実績である。

また、キャビン老朽化による改修および女子用トイレ入口設置に修繕費 1,589,911 円を支出した。

(カ) 広河原野営場近隣における舎営施設土地建物の取得又は賃借について

利用状況がはかばかしくなく、当面見合わせる。

(3) 指導者養成のためのプログラム企画運営事業：「連携」

(ア) 趣旨

ボーイスカウトの指導者が、テーマを設けて研修する催しに青少年の育成を指導する人としての素養を涵養するために、企業人、教育者等の有識者を講師に迎え、オープンに一般の参加者も迎え、セミナー等を実施するものである。

(イ) 事業実績

例年実施されてきた「指導者全体研究集会」は、今年度は実施されなかった。

(4) 国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動支援のための共催事業：「イベント」

(ア) 国際交流・国際貢献活動支援

- － 第4回ガーナ派遣、オーストラリア短期留学派遣、韓国京畿南部連盟受入事業が計画されたが、新型コロナウイルス感染防止により、中止となった。
- － ジャンボリー・オン・ジ・インターネット(JOTI)／ジャンボリー・オン・ジ・エア(JOTA)
世界スカウト機構が主催する公式国際行事で、10月17日に全世界でインターネットやアマチュア無線を利用して、スカウト同士が国境を超えた情報交換と友好を深めた。京都からは9こ団110名が参加した。

(イ) 社会に役立つ事業活動支援

- 一般青少年を対象にした事業は、スカウト仲間を増やすためにも、各地区・各団で工夫したプログラムが実施され、この一般向けの案内のためにホームページを活用した。
- － 全国防災キャラバンはコロナ禍により中止となったが、日本連盟提供の文部科学省委託事業「ボーイスカウトとあそぼうワクワク自然体験あそび」に各団が独自のプログラムで計19回実施し一般児童ら472人の参加を受け入れた。
 - － 例年奉仕してきた全国都道府県対抗女子駅伝競走大会、全国車いす駅伝競走大会は新型コロナウイルス感染防止のため開催中止となった。

(ウ) 環境まち美化活動支援

例年各団が春と秋に奉仕してきた「みどりの募金」活動は自粛となり、京都市「まち美化運動」に協力してきたが、「世界の京都・まち美化市民総行動」も中止となった。

(5) ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業：「広報」

(ア) ホームページの充実により、組織内外のコミュニケーションを促進する。

- ① 一般の子どもや保護者が参加可能な団主催「スカウト体験と説明会」や地区主催「バーランド」「カブラリー」等、スカウトの日（ゴミ拾い等の奉仕活動を実施する日）等について、ホームページのほかに、新設された「京都連盟 LINE 公式アカウント」により告知し、地域の青少年の参加を促した。
- ② ボーイスカウト・指導者等のボーイスカウト関係者、維持会員、並びに不特定多数の皆様に対して、ホームページを通じて、当法人の事業計画等・京都連盟の事業計画等を適時に適切な範囲でディスクローズし、健全な運営を行った。
- ③ ボーイスカウト運動の振興を図るために維持会員及び潜在的な維持会員に対して、ホームページを通じて、会費の協力を依頼した。
- ④ OBの復帰受け皿としての「サポーター制度」を確立し、ホームページを通じて公募した。

(イ) 事業費実績

主な事業費は、ホームページ運営改革費（396,000円）を支出した。

(6)財源の確保（維持(賛助)会費の入金状況）

維持(賛助)会費の入金内訳は以下の通りです。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
維持会費収入額	2,492 千円	2,470 千円	2,560 千円	2,420 千円	2,310 千円

当該会計年度は、維持(賛助)会費収入が 2,310 千円と前年度比－110 千円となりました。

引き続き、役員の方には、21世紀を担う青少年の健全な育成の場としてのボーイスカウト運動を、地域社会の方々の認識を高めるのにご尽力をいただき、広く財政的援助を頂戴していただけるように努力して頂き、維持会員数の拡大に一層のご協力をお願いする次第であります。

以上